

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (新規)

提出区分	新規	整理番号	6	課題区分	C	令和5年11月1日
横断的な課題	雪国の暮らしを支える生活基盤の維持と確保					
地域重点政策	ライフライン、生活確保のための雪対策の推進					北信地域振興局

実施機関	北信地域振興局	担当課	所属	企画振興課
事業名	雪対策の推進		電話	0269-23-0201
			E-mail	hokuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

事業の概要等	目的 (目指す姿)	屋根の雪下ろしをはじめとした除雪作業における安全対策を普及し、冬期間における除雪事故の減少を目指すとともに、雪を地域の特色として捉え、農業、商工業、観光、環境等、分野を限定しない雪の利活用により、雪のイメージアップ及び産業振興を図る。
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根の雪下ろし作業に伴う転落事故等が例年発生。 ・これまで、命綱固定アンカーのモデル設置、建設業者を対象にした勉強会や雪害救助員向け講習会の開催や、克雪住宅事例集の製作、雪下ろし安全対策リーフレット・ポスター・動画等を作成し、除雪作業中の安全対策の普及を促進。 ・注意不足による除雪中の事故は例年発生していることから、今後も継続してこれらのツールを活用し、広く地域に安全対策を普及させることが必要。 ・雪の利活用については、イベント(雪まつり、かまくら祭り等)等の観光面で進んでいる。 ・一方で、それ以外の分野において、事業者や地域住民の雪利活用の機運は高くない。 ・特に、可能性としてこれまで研究してきた「雪室」や「雪中貯蔵品の高付加価値化」に関する検討は、雪室の所有の有無により市町村の取組体制に差があること、雪室貯蔵品は小ロットであり販路開拓には生産体制の整備が必要なことなどから、具体的な施策に至っていない。
	内容 (変更後の内容)	<p>【除雪作業の安全対策普及事業】</p> <p>○安全対策意識の醸成と普及に重点を置き、モデル設置施設、動画、事例集等のツールを活用するとともに、域外で先進的な取組を行う者との交流の機会を創出。</p> <p><概要></p> <p>(1) 講習会開催</p> <p>ア 時期・回数 1回開催(12月)</p> <p>イ テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全対策の方法紹介等(鬼無里PRIDE PROJECT) ・管内市町村の事例紹介等 <p>ウ 対象者(雪下ろしを行う者)</p> <p>雪害救助員(住宅除雪支援員)、区長、住民、管内市町村職員等</p> <p>(2) 啓発・情報発信等</p> <p>ア 管内市町村広報誌による雪下ろし安全対策の周知</p> <p>イ 啓発物資の増刷・周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪下ろし安全対策にかかるポスター、リーフレットの増刷(R2年データ活用)。管内市町村等への配付を通じて安全対策の啓発を図る。 <p>【雪の利活用促進研究事業】</p> <p>○雪室活用情報交換会(飯山市、山ノ内町 各1回)</p>
事業期間	令和5年11月 ~ 令和6年3月	

事業費等	(単位:円)			
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考
	除雪作業の安全対策普及事業	除雪作業の安全対策講習会の開催及び雪下ろし安全対策にかかるポスター、リーフレットの作成・情報発信	307,791	講師謝金111,600 (@3,100×12h×3人) 旅費27,526 (4,391(鬼無里~飯山市往復)×2回×3名、1,180(森宮野原駅~飯山駅往復)) リーフレット印刷115,665 (@21.03×5,000部+税) ポスター印刷33,000 (@300×100部+税) コピー使用料20,000
	雪の利活用促進研究事業	飯山市・山ノ内町との雪の利活用に関する情報交換会の開催	103,340	講師謝金51,200 (@6,400×8h) 旅費22,140(燕市~飯山市往復) 会場費等30,000
合計			411,131	

指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	R5シーズン除雪作業中の事故件数		21件未満		<input type="radio"/> 達成 <input type="radio"/> 一部達成 <input type="radio"/> 未達成
	雪下ろし情報交換会満足度(5点満点)4点以上の割合		6割以上		
	雪室活用情報交換会満足度(5点満点)4点以上の割合		6割以上		

事業実績・成果	
---------	--

今後の方向性	
--------	--